

## リハビリテーション部

【教育】	
1. 到達目標	早期から専門分野に特化することなく幅広い分野のリハビリテーション医療を提供するために必要な知識と技術、人間性の向上を目指します。スタッフ教育では急性期のリハビリテーションに必要なリスク管理と評価・治療の考え方、実技を習得するための指導を行います。多種多様な疾患・病態に対応でき、患者様の視点に立った良質なリハビリテーションを提供できる人材育成を目指します。その後、希望するスタッフに対して大学院進学や各種認定資格の取得ができるよう支援することにより、より専門的な知識と技術の習得に努めます。学生の臨床実習については、養成校の指導方針に合わせて目標を定め、その達成に向けた指導を進めていきます。
2. 現状説明	新人教育プログラムを作成してスタッフ教育を行っていますが、幅広い疾患に対応するためには追加の指導を必要とすることが多く、その都度指導しながら教育を進めています。多くのスタッフが大学院進学や各種認定資格の取得ができています。
3. 点検・評価	新人教育プログラムには項目ごとにチェックをつけられるように作成し、その達成度を評価しています。
4. 目標・改善方策の達成度	新人教育プログラムを修了するまで指導を継続しています。その後、大学院卒業や各種認定資格を取得したスタッフも多く、意欲的に学習できています。現在も大学院に進学中のスタッフがおり、継続的にスタッフの学習が進んでいます。
【研究】	
1. 到達目標	整形外科的疾患、脳血管障害、中枢神経障害、内部障害のリハビリテーションに関する研究や、心臓リハビリテーション、ロボットリハビリテーション、スポーツ障害などに関する研究を行っております。今後も幅広い分野で研究を進めていきます。
2. 現状説明	限られた時間を有効に使いながら行っています。チーム内での情報共有を大切にし、臨床から研究へとスムーズに移行できるように工夫をしながら行っています。研究発表を行う際は予演会等を通してスタッフ教育を行っており、研究の方法や考え方を学べるように努力しています。
3. 点検・評価	研究テーマによっては部外スタッフからも意見をもらうようにし、多角的な視点で考察できるように配慮をしています。
4. 目標・改善方策の達成度	各種学会での発表や論文作成などが行えています。
【診療】	
1. 到達目標	多職種で連携しながら、エビデンスに基づいた幅広い分野のリハビリテーション医療を提供するために必要な知識と技術、人間性の向上を目指します。
2. 現状説明	特定分野に特化した人員配置を行わず、幅広い疾患に対応できるよう配慮しています。心大血管リハビリテーションなど、専従・専任が必要な分野ではスタッフのローテーション方式を導入して対応しています。
3. 点検・評価	カンファレンスや症例検討会などで診療内容や質を確認しています。スタッフ全員が各種疾患別リハビリテーションに対応できています。がん患者リハビリテーションについては、各種疾患別リハビリテーションの対応が可能となってから研修を受講できるように配慮しています。
4. 目標・改善方策の達成度	年間多くの疾患別リハビリテーションに対応できており、がんのリハビリテーションについては療法士30名中21名が対応できるようになりました。
【社会貢献】	
1. 到達目標	リハビリテーション医療に関わる研修会や災害リハビリテーション研修会を主催し、県内外の医療従事者の研鑽の場を提供するとともに施設間の連携を強化することを目指します。災害時には多施設で連携し支援活動ができるようなネットワークづくりを目指しています。
2. 現状説明	毎年山形リハビリテーション研究会、山形災害リハビリテーション研修会を開催しています。災害時にはJRATと連携してスタッフの派遣を行っています。
3. 点検・評価	上記研究会や研修会に多くの施設から参加してもらっています。
4. 目標・改善方策の達成度	能登半島地震におけるJRAT活動など、多施設で共同してリハビリテーション支援を行いました。当院からも多くのスタッフが支援に参加しました。山形リハビリテーション研究会や、やまがたJRATの事務局も担当しています。

リハビリテーション部

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
1. 論文	(1)原著	査読有 Hoshikawa K, Yuri T, Oishi R, Uno T, Nagai J, Giambini H, Mura N	Muscle belly ratio is the most suitable for estimating the activity of the torn supraspinatus muscle.	JSES International. 2023 July; 7(6): 2373-2378. PMID:37969501		E Only	B
1. 論文	(1)原著	査読有 Kanauchi Y, Murase T, Nishiwaki M, Odagiri M, Wanezaki Y, Ishikawa H	Study of Reliability and Validity of the Load Cell-Type Hand Dynamometer Compared to the Jamar Dynamometer and the Number of Reliable Grip Strength Measurements.	J Hand Surg Asian Pac Vol. 2023 Oct; 28(5): 562-572. PMID:37881817	IF=0.5		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Kuwana M, Sugiyama N, Momohara S, Atsumi T, Takei S, Tamura N, Harigai M, Fujii T, Matsuno H, Takeuchi T, Yamamoto K, Takasaki Y, Tanigawa M, Endo Y, Hirose T, Morishima Y, Yoshii N, Mimori T, Takagi M	Six-month safety and effectiveness of tofacitinib in patients with rheumatoid arthritis in Japan: Interim analysis of post-marketing surveillance.	Mod Rheumatol. 2024 Feb 26; 34(2): 272-286. PMID:37405710	IF=16.2, Q4		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Shibahashi H, Murakawa M, Yuki I, Uno T, Takakubo Y, Takagi M	Patient Sex Is a Significant Factor in Arm Function Recovery After Arthroscopic Rotator Cuff Repair	Arthrosc Sports Med Rehabil. 2023 Dec7; 6(1):100834. doi:10.1016/j.asmr.2023.100834. PMID:38162587		E Only	B
1. 論文	(1)原著	査読有 Suzuki Y, Suzuki T, Takagi M, Murakami M, Ikeda T	Bidirectional longitudinal association between back pain and loneliness in laterlife: evidence from english longitudinal study of ageing.	Ann Geriatr Med Res. 2024 Mar; 28(1): 27-35. PMID:38105012	IF=3.6		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Takagi M, Atsumi T, Matsuno H, Tamura N, Fujii T, Okamoto N, Takahashi N, Nakajima A, Nakajima A, Tsujimoto N, Nishikawa A, Ishii T, Takeuchi T, Kuwana M	Safety and effectiveness of baricitinib for rheumatoid arthritis in japanese clinical practice: 24-Week results of all-case post-marketing surveillance.	Mod Rheumatol. 2023 Jul; 33(4): 647-656. PMID:35932218	IF=16.2, Q4		B
1. 論文	(1)原著	査読有 Uno T, Mura N, Yuki I, Takagi M	Shoulder activity of the contralateral shoulder as a prognostic factor in patients with arthroscopic rotator cuff repair.	JSES International. 2023 May; 7:420-426. PMID:37266164		E Only	B
1. 論文	(1)原著	査読有 Uno T, Mura N, Yuki I, Oishi R, Takagi M	The effect of continuous interscalene brachial plexus block for arthroscopic rotator cuff repair.	Asia Pac J Sports Med Arthrosc Rehabil Technol. 2024 Feb 2; 36: 6-12. PMID:38344106	IF=2.1	E Only	B
1. 論文	(1)原著	査読有 Wanezaki Y, Suzuki A, Takakubo Y, Nakajima T, Toyono S, Takagi M	Preoperative foot and ankle radiographic evaluation for total knee arthroplasty.	JJSR. 2023 Dec; 1: 197-200		E Only	B
1. 論文	(1)原著	査読有 伊藤重治, 大楽勝之, 川路博之, 鮫島健志, 門馬亮介, 高窪祐弥, 大木弘治, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	山形県における高齢者脆弱骨盤輪骨折に対する治療の現状と問題点.	Hip Joint. 2023年5月; 49(1): 3-6			B
1. 論文	(1)原著	査読有 伊藤重治, 高窪祐弥, 鮫島健志, 門馬亮介, 大木弘治, 佐々木幹, 小林真司, 石井政次, 高木理彰	大腿骨頭壊死症に対するセメントステムを用いた人工股関節全置換術の中期成績.	日本人工関節学会誌. 2023年12月; 53: 15-16			B
1. 論文	(1)原著	査読有 大森允, 荒川忍, 石川雅樹	心臓血管外科術後患者における外来心臓リハビリテーション開始時の換気効率の検討	山形理学療法学. 2024年3月; 20巻: 16-20			
1. 論文	(1)原著	査読有 佐々木幹, 大木弘治, 伊東貴史, 高橋健大, 門馬亮介, 高窪祐弥, 伊藤重治, 鮫島健志, 石井政次, 高木理彰	当科におけるCT-based Navigation THAの成績.	Hip Joint. 2023年5月; 49(1): 23-27			B
1. 論文	(1)原著	査読有 菅原正登, 高木理彰	がん専門病院で行った骨・軟部腫瘍研修の実際—地方大学病院における骨・軟部腫瘍医のあり方—.	日本整形外科学会雑誌. 2023年9月; 97(9): 621-625			

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
1. 論文	(1) 原著	査読有 高窪祐弥, 伊藤重治, 佐々木幹, 高木理彰	変形性股関節症のリハビリテーション診療 - 保存療法とリハビリテーション治療 - Conservation therapy and rehabilitation treatment for osteoarthritis of the hip.	MB Medical Rehabilitation. 2023年7月; 289: 146-154			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 高田志考, 杉田誠, 武井寛, 鈴木智人, 高木理彰	成人脊柱変形患者の体位によるpelvic incidence(P1)の変動と術後アライメントへの影響.	東北整形災害外科学会雑誌. 2023年6月; 66(1): 9-12			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 高橋健大, 佐々木幹, 大木弘治, 伊東貴史, 高窪祐弥, 伊藤重治, 門馬亮介, 鮫島健志, 石井政次, 高木理彰	当院における初回人工股関節全置換術後脱臼例についての検討.	Hip Joint. 2023年5月; 49(1): 41-45			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 高橋将輝, 浅野多聞, 菅原正登, 高原大一郎, 高木理彰	一般整形外科における初診時原発不明癌骨転移の検討.	東日本整形災害外科学会雑誌. 2023年12月; 35(4): 441-446			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 千葉優人, 高窪祐弥, 伊東貴史, 佐々木明子, 長沼靖, 梁秀蘭, 大木弘治, 鈴木智人, 大類広, 佐々木幹, 高木理彰	当科初診時のスクリーニング検査で悪性腫瘍を認めた関節リウマチ患者の検討.	関節の外科. 2023年6月; 50(1): 1-4			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 豊野修二, 鈴木朱美, 和根崎禎大, 麻生正, 鮫島健志, 山本尚生, 伊東貴史, 中島拓, 福島重宣, 高木理彰	Kinematic alignment TKAにおけるjoint line obliquityと術後臨床成績.	日本人工関節学会誌. 2023年12月; 53: 145-146			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 永井惇, 村成幸, 宇野智洋, 大石隆太, 結城一声, 高木理彰	同一患者における肩胛板断裂の無症候性側と症候性側の身体所見の違い.	肩関節. 2023年9月; 47: 146-150			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 成田淳, 岡本純一, 麻生正, 和根崎禎大, 高木理彰	人工関節置換術後における水中運動療法の短期効果.	JOSKAS. 2023; 48(2): 452-453			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 根本信仁, 澁谷純一郎, 田中賢, 高木理彰	冬期間における整形外科四肢外傷と気象状況との関連の検討.	東北整形災害外科学会雑誌. 2023年6月; 66(1): 58-61			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 根本信太郎, 石垣大介, 渋谷純一郎, 花香直美, 佐竹寛史, 高木理彰	化膿性肘頭滑液包炎の治療成績.	日本肘関節学会誌. 2023; 30(2): 376-380			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 濱崎正康, 伊藤重治, 高窪祐弥, 鮫島健志, 門馬亮介, 大木弘治, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	山形大学式polished tapered stem (Double Taper Polish ステム) を用いた人工股関節全置換術の中期成績	Hip Joint. 2023年5月; 49(1): 303-307			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 福島重宣, 伊東貴史, 山本尚生, 豊野修二, 鈴木朱美, 高木理彰	Kinematic Alignment TKAの習得時期の違いによる臨床成績の検討.	日本人工関節学会誌. 2023年12月; 53: 437-438			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 辺見大剛, 高窪祐弥, 村川美幸, 鈴木克彦, 高木理彰, 佐藤寿晃	* 人工股関節全置換術後患者における先行脚の違いによる浴槽側方またぎ動作の解析.	The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 2023年8月; 60(8): 714-722			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 宮地隆浩, 中島拓, 松木宏史, 和根崎禎大, 高木理彰	Mechanical alignment法におけるCPAK分類と術後短期成績.	日本人工関節学会誌. 2023年12月; 53: 445-446			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 門馬亮介, 佐々木幹, 伊藤重治, 高窪祐弥, 大木弘治, 石井政次, 川路博之, 浦山安広, 鮫島健志, 高木理彰	コンポジットビームステムにおけるステム周囲骨折の特徴と治療の実際について.	Hip Joint. 2023年5月; 49(1): 11-15			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 山本尚生, 福島重宣, 伊東貴史, 鈴木朱美, 中島拓, 豊野修二, 和根崎禎大, 麻生正, 高木理彰	Kinematic alignment TKA術後の膝蓋大腿関節評価.	JOSKAS. 2023; 48(2): 388-389			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 山本尚生, 福島重宣, 伊東貴史, 鈴木朱美, 中島拓, 豊野修二, 和根崎禎大, 麻生正, 高木理彰	Calipered techniqueを用いたKinematic alignment法による人工関節全置換術の術後1年成績.	東北関節研究会誌. 2023年7月; 31: 15-18			B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
1. 論文	(1) 原著	査読有 渡邊忠良, 佐竹寛史, 高木理彰	肘関節周囲2次骨化中心の出現時期と閉鎖時期.	日手会誌. 2023; 39(5): 719-725			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 渡邊忠良, 佐竹寛史, 高木理彰	小児指節骨骨折の疫学的傾向.	日手会誌. 2023; 39(4): 491-497			B
1. 論文	(1) 原著	査読有 和根崎禎大, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 豊野修二, 五十嵐貴宏, 麻生正, 鮫島健志, 高木理彰	人工膝関節全置換術における後足部ライメン トの重要性.	日本人工関節学会誌. 2023年12月; 53: 119-120			B
1. 論文	(2) 総説及び解 説	査読有 麻生正, 高窪祐弥, 高木理彰	2022ACR/AAHKSリウマチ性疾患患者に対するTHA, TKA施行時の周術期抗リウマチ薬ガイドライン.	リウマチ科. 2023年9月; 70(3): 314-321			
1. 論文	(3) 症例報告	査読有 川路博之, 石井政次, 佐々木幹, 大楽勝之, 浦 山安広, 高窪祐弥, 伊藤重治, 大木弘治, 門馬 亮介, 高木理彰	乳児期股関節脱臼治療後の遺残変形に対して寛 骨臼回転骨切り術とBorden大腿骨延長外反骨切 り術を同時に施行した1例.	Hip Joint. 2023年5月; 49(1): 119-123			B
1. 論文	(3) 症例報告	査読有 佐竹寛史, 長沼靖, 豊野修二, 仁藤敏哉, 高木 理彰	人工靭帯を用いた母指CM関節形成術後経過中に 第2中手骨骨折が疑われた1例.	骨折. 2024; 46(1): 193-196			B
1. 論文	(3) 症例報告	査読有 鈴木幸大, 原田幹生, 浦山安広, 高木理彰	学童期柔道選手の開放性母趾IP関節外側側副靭 帯断裂の1例.	東北整形災害外科学会雑誌. 2023年6月; 66(1): 125-128			B
1. 論文	(3) 症例報告	査読有 平野れな, 小関和彦, 澁谷純一郎, 平山朋幸, 高原政利, 太田吉雄, 根本忠信, 高木理彰	後距踵関節面の脱臼骨片を伴った腫骨開放骨折 の1例.	東北整形災害外科学会雑誌. 2023年6月; 66(1): 121-124			B
1. 論文	(3) 症例報告	査読有 吉岡大樹, 石垣大介, 根本信太郎, 澁谷純一郎, 佐竹寛史, 高木理彰	肘橈骨に対するプレート固定術で発症した前骨 間神経麻痺に対し腱移行術を行った一例.	東北整形災害外科学会雑誌. 2023年6月; 66(1): 90-93			B
1. 論文	(7) その他	査読有 高木理彰	書評 リウマチ・膠原病診療ゴールデンハンド ブック (改第2版).	臨床雑誌整形外科. 2023年11月; 74(12): 1286			
2. 学会報告	(1) 国際学会	ii シンポジウ ム・パネルディ スカッション・ ワークショップ ・教育講演等	Takagi M	Periprosthetic joint pathology.	The 67th Spring Congress of the Korean Orthopaedic Association, Korea; April 2023		
2. 学会報告	(1) 国際学会	ii シンポジウ ム・パネルディ スカッション・ ワークショップ ・教育講演等	Takagi M	Current knowledge of rheumatoid arthritis. - Is rheumatoid hip is forgotten?	The 67th Spring Congress of the Korean Orthopaedic Association, Korea; April 2023		
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題	査読有 Akabane T, Suzuki T, Sagae H, Konno Y, Sugita M, Hasegawa H, Takada S, Asano T, Takagi M	Changes in the incidence and injury mechanism of spinal trauma before and after the new coronavirus (COVID-19) pandemic.	Spineweek 2023, Melbourne; May 2023		B
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題	査読有 Aso M, Takakubo Y, Suzuki A, Yang S, Wanezaki Y, Yamamoto T, Ito T, Fukushima S, Takagi M	Trends of knee Arthroplasty for patients with rheumatoid arthritis and osteoarthritis in super-aging society in the last thirteen years.	EULAR 2023 European Congress of Rheumatology, Milan, Italy; Jun 2023		B
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題	査読有 Atsumi T, Okamoto N, Takahashi N, Tamura N, Nakajima A, Nakajima A, Fujii T, Matsuno H, Kawaberi T, Sunaga N, Tsujita Y, Chonan S, Kuwana M, Takagi M	24-week, post-marketing surveillance analysis of upadacitinib in Japanese patients with rheumatoid arthritis.	ACR Convergence 2023, San Diego; Nov 2023		B
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題	査読有 Hoshikawa K, Oishi R, Yuri T, Uno T, Nagai J, Giambini H, Mura N	Quantitative fatty infiltration analysis of the supraspinatus muscle from MRI images.	World hysiotherapy Congress 2023, Dubai; Jun 2023		B
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題	査読有 Honma R, Maruyama M, Takakubo Y, Takagi M	Podoplanin expression in osteochondral grafts in a rabbit model.	ORS 2024 Annual Meeting, Long Beach; Feb 2024		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者等	論題・章題・演題・学会賞名等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月等	Impact Factor ・JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題	査読有 Huang H, Takakubo Y, Maruyama M, Uno T, Akabane T, Igarashi T, Liu X, Yang YP, Goodman SB, Takagi M	Analysis on macrophage subtype alteration in the synovium of rheumatoid arthritis.	ORS 2024 Annual Meeting, Long Beach; Feb 2024		D
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題	査読有 Igarashi T, Maruyama M, Hanqing H, Hanaka N, Uno T, Suzuki A, Takakubo Y, Yang YP, Goodman SB, Takagi M	Comparison of the effects of peripheral blood-derived and bone marrow-derived platelet-rich fibrin for osteochondral defects in rabbits.	ORS 2024 Annual Meeting, Long Beach; Feb 2024		D
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題	査読有 Nagase T, Takakubo Y, Wanezaki Y, Aso M, Yang S, Nemoto N, Takagi M	A case report of pyoderma gangrenosum complicated with RA successfully treated with anti-TNF.	APLAR 2023, Chiang Mai Thailand; Dec 2023		B
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題	査読有 Oishi R, Mura N, Hoshikawa R, Uno T, Takagi M	Involvement of infraspinatus muscle contractility in the acromio-humeral distance during shoulder abduction in rotator cuff tear patients.	ORS 2024 Annual Meeting, Long Beach; Feb, 2024		B
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題	査読有 Sugawara M, Shirai C, Takagi M	Association of Adc values wuth desmoid tumor shrinkage during active observation.	Attended the 2023 Annual Meeting of the connective tissue oncology society. Dublin; Nov 2023		
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題	査読有 Takakubo Y, Nagase T, Ito J, Samejima T, Sasaki K, Oki H, Takahashi T, Kawaji H, Kobayashi S, Ishii M, Takagi M	Total Hip Arthroplasties for Patients with Rheumatoid Arthritis in BIO-era	APLAR 2023, Chiang Mai Thailand; Dec 2023		B
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題	査読有 Uno T, Mura N, Yuki I, Oishi R, Takagi M	Factors correlated with the optimal tension for arthroscopic rotator cuff repair using Grasper Tensioning Attachment.	The15th International Congress on Shoulder and Elbow Surgery, Roma (Web and In-person); Sep 2023		B
2. 学会報告	(1) 国際学会	iii 一般演題	査読有 Uno T, Mura N, Yuki I, Takagi M	Shoulder activity of the contralateral shoulder as a prognostic factor in patients with arthroscopic rotator cuff repair.	The15th International Congress on Shoulder and Elbow Surgery, Roma (Web and In-person); Sep 2023		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	Takakubo Y, Takagi M	A last case of 18th ERASS-JRF exchange traveling fellow -the presence of Rheuma-surgeon in Yamagata, North of Japan-.	The 52nd annual meeting of Japan Society for Rheumatism and Joint Surgery, Nigata; Sep 2023		
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	Takakubo Y	Application of the rehabilitation therapy and care for the patients with rheumatoid arthritis in the super-aging era: A vision for rehabilitation of treat to target.	The 96th Annual Meeting of the Japanese Orthopaedic Association, Yokohama; May 2023		
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	宇野智洋, 高原政利, 原田幹生, 丸山真博, 佐竹寛史, 佐々木淳也, 村成幸, 高木理彰	整形外科分野におけるスポーツ医学の多様性. 小児スポーツ障害予防における貢献-野球肘検診-	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		B
3. 学会報告	(1) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	浦山樹	アスリートの現状と理学療法必要性～障害予防を目指して～	第41回東北理学療法学術大会, 岩手; 2023年9月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	佐々木幹, 大木弘治, 伊東貴史, 高橋健大, 片山れな, 石井政次, 高窪祐弥, 伊藤重治, 鮫島健志, 高木理彰	当院におけるテーパーポリッシュセメントステム3機種長期成績	第54回日本人工関節学会, 京都; 2024年2月		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者等	論題・章題・演題・学会賞名等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月等	Impact Factor ・JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	佐竹寛史, 仁藤敏哉, 丸山真博, 本間龍介, 長沼 靖, 澁谷純一郎, 高木理彰	胸郭出口症候群に対する内視鏡下手術.	第66回日本手外科学会学術集会, 東京; 2023年4月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	佐藤太志, 稲葉裕, 木下浩一, 兼氏歩, 高橋大介, 加畑多文, 松田秀一, 高木理彰, 宇都宮健, 中島康晴	わが国における変形性股関節症の病因と疫学.	第50回日本股関節学会学術集会, 福岡; 2023年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	鈴木朱美, 高木理彰	—今、何が問題なのか— 女子サッカーにおけるスポーツ外傷・障害.	日本スポーツ整形外科学会2023, 広島; 2023年6月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	鈴木朱美, 齊藤雅彦, 山口奈美, 長尾雅史, 高木理彰	女性アスリート支援のための連携 サッカー女子日本代表「なでしこJAPAN」帯同ドクターの役割	第60回日本リハビリテーション学会, 福岡; 2023年7月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高窪祐弥	北海道・東北地区のリウマチ診療の現状と問題点-やらんなネット 9年の経験からみてきたこと.	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2023年4月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高窪祐弥, 高木理彰	整形外科によるリウマチ治療をいかに次世代につなげるか.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高窪祐弥	人生100年時代のリウマチリハビリテーションの実際と課題 - RT2Tを目指して -.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高窪祐弥	関節リウマチの薬物治療の基本 - MTX -.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高窪祐弥	80歳以上の粗鬆骨に対するハイブリッドTHA.	第51回日本関節病学会, 東京; 2023年7月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高窪祐弥, 佐々木幹, 伊藤重治, 高木理彰	ナビに頼らないTHA-私の工夫?.	第50回日本股関節学会学術集会, 福岡; 2023年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	高窪祐弥, 寒河江拓盛, 成田亜矢, 村川美幸, 高木理彰	* B10・JAKi時代の関節リウマチリハビリテーション治療.	第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 宮崎; 2023年11月		

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者等	論題・章題・演題・学会賞名等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月等	Impact Factor ・JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	長沼靖, 田中賢, 根本信仁, 土屋匡央, 高木理彰	悪性腫瘍罹患者の骨折受傷後の生命予後.	第49回日本骨折治療学会学術集会, 静岡; 2023年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	花香直美, 佐竹寛史, 丸山真博, 仁藤敏哉, 高木理彰	母指多指症～良好な母指再建のための一工夫～.	第66回日本手外科学会学術集会, 東京; 2023年4月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	原田幹生, 丸山真博, 宇野智洋, 佐竹寛史, 村成幸, 高原政利, 高木理彰	野球肘検診の現状と課題.	日本スポーツ整形外科学会2023, 広島; 2023年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	丸山真博, 五十嵐貴宏, 宇野智洋, 仁藤敏哉, 花香直美, 佐竹寛史, 高木理彰	肘離断性骨軟骨炎に対する骨軟骨柱移植術—家兎における多血小板フィブリンを併用した骨軟骨柱移植術の効果—.	第38回日本整形外科学会基礎学術集会, つくば; 2023年10月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	丸山真博, Moeinzadeh S, Guzman RA, Zhang N, Storaci HW, 宇都宮健, 高木理彰, Yang YP, Stuart B. Goodman	早期大腿骨頭壊死症に対する免疫制御を用いた細胞治療の効果—家兎を用いた基礎的研究—.	第38回日本整形外科学会基礎学術集会, つくば; 2023年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	梁秀蘭, 高窪祐弥, 五十嵐貴宏, 寒河江拓盛, 佐々木明子, 高木理彰	RA患者に適した運動とは?—モルックのススメ—.	第38回日本臨床リウマチ学会, 福岡; 2023年11月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	結城一声, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 高木理彰	コンプリヘンシブリアバース人工肩関節置換術の中期成績.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 Saito D, Takakubo Y, Momma R, Wanezaki Y, Aso M, Naganuma Y, Honma R, Yang S, Sasaki A, Takagi M	Is radiographic destruction in patients with early rheumatoid arthritis decreasing in the last decade?	The 96th Annual Meeting of the Japanese Orthopaedic Association, Yokohama; May 2023		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 Takakubo Y, Wanezaki Y, Aso M, Nagase T, Kuwazoe S, Naganuma Y, Honma R, Yang S, Sasaki A, Takagi M	Application of intra-soft tissue antibiotics perfusion after removal of THA with MRSA infection: a case report.	The 65th Annual General Assembly and Scientific Meeting of the Japan College of Rheumatology, Fukuoka; Apr 2023		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 Takakubo Y	Mid-long term results of joint-preserving procedures for forefoot deformities in the patients with rheumatoid arthritis compared to resection arthroplasty.	The 96th Annual Meeting of the Japanese Orthopaedic Association, Yokohama; May 2023		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 赤羽武, 鈴木智人, 今野祐生, 寒河江拓盛, 杉田誠, 長谷川浩士, 高田志考, 浅野多聞, 高木理彰	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行前後における脊椎外傷の発生動向と受傷機転の変化.	第52回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 北海道; 2023年4月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 赤羽武, 鈴木智人, 嶋村之秀, 今野祐生, 寒河江拓盛, 高木理彰	経皮的椎弓根スクリュー刺入に伴う椎間関節損傷の検討—抜釘後に局所後弯は進行するか—.	第51回日本関節病学会, 東京; 2023年7月		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 赤羽武, 鈴木智人, 今野祐生, 寒河江拓盛, 杉田誠, 長谷川浩士, 高田志考, 浅野多聞, 高木理彰	胸腰椎移行部脊椎外傷に対する経皮的椎弓根スクリューを用いた後方固定術 -術前椎体CT値は固定範囲の予測因子である-	第38回日本整形外科学会基礎学術集会, つくば; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 麻生正, 鈴木朱美, 菅原正登, 鮫島健志, 高木理彰	小児膝蓋骨骨髄炎の1例.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 麻生正, 和根崎禎大, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 高窪祐弥, 高木理彰	特発性内反母趾に対しMTP関節固定術を施行した1例.	第48回日本足の外科学会学術集会, 大阪; 2023年10月		
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 麻生正, 豊野修二, 鈴木朱美, 山本尚生, 中島拓, 和根崎禎大, 鮫島健志, 豊島定美, 福島重宣, 高木理彰	日本人正常膝におけるRestricted kinematic alignment TKAの境界の検討.	第1回日本膝関節学会, 横浜; 2023年12月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 瀧美達也, 岡本奈美, 高橋伸典, 田村直人, 中島敦夫, 中島亜矢子, 藤井隆夫, 松野博明, 川縁岳志, 須永尚美, 辻田由喜, 長南寿美, 田中良哉, 桑名正隆, 高木理彰	関節リウマチ患者に対するウパダシニブの安全性・有効性: 国内特定使用成績調査(製造販売後全例調査)の24週中間解析結果.	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2023年4月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 新井里彩, 宮地隆浩, 中島拓, 三上諒樹, 長瀬貴明, 遠藤誠一, 本間龍介, 山川淳一, 鶴田大作, 大柴勝之, 林雅弘, 高木理彰	当院における骨軟部組織感染症に対するContinuous Local Antibiotic Perfusion (GLAP) の有効性の検討.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 新井里彩, 鈴木朱美, 麻生正, 鮫島健志, 中島拓, 高木理彰	若年者の前十字韌帯損傷に内側半月板後根損傷を合併した1例.	第1回日本膝関節学会, 横浜; 2023年12月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 五十嵐貴宏, 丸山真博, 黄漢卿, 宇野智洋, 花香直美, 高木理彰	家兔骨軟骨欠損に対する末梢血由来および骨髄由来多血小板フィブリンの効果.	第38回日本整形外科学会基礎学術集会, つくば; 2023年10月		
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 五十嵐貴宏, 丸山真博, 黄漢卿, 宇野智洋, 花香直美, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 高木理彰	家兔膝骨軟骨欠損に対する骨髄由来多血小板フィブリンの効果.	第23回日本再生医療学会総会, 新潟; 2024年3月		
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 伊藤重治, 根本信仁, 大柴勝之, 川路博之, 鮫島健志, 門馬亮介, 高窪祐弥, 大木弘治, 佐々木幹, 高木理彰	山形県における高齢者脆弱性骨盤輪骨折の治療状況と課題.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 伊藤重治, 高窪祐弥, 鮫島健志, 門馬亮介, 高橋健大, 大木弘治, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	80歳以上に対するセメントシステムを用いた人工股関節全置換術の術後成績.	第50回日本股関節学会学術集会, 福岡; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 伊藤重治, 高窪祐弥, 鮫島健志, 門馬亮介, 高橋健大, 大木弘治, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	Exeter 44 mm offset short stemを用いた初回人工股関節全置換術の短期成績.	第54回日本人人工関節学会, 京都; 2024年2月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 伊東貴史, 福島重宣, 宮地隆浩, 山本尚生, 中島拓, 鮫島健志, 麻生正, 和根崎禎大, 豊野修二, 鈴木朱美, 高木理彰	高度内反変形膝に対する人工膝関節全置換術の下肢アライメント, 制限なしKinematic alignment 法とrestricted KA の比較.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 伊東貴史, 福島重宣, 宮地隆浩, 山本尚生, 中島拓, 鮫島健志, 和根崎禎大, 豊野修二, 鈴木朱美, 高木理彰	PSIを用いたRestricted kinematic alignment TKAの術後短期成績.	第1回日本膝関節学会, 横浜; 2023年12月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 岩丸力也, 宮地隆浩, 中島拓, 三上諒樹, 長瀬貴明, 遠藤誠一, 本間龍介, 山川淳一, 鶴田大作, 大柴勝之, 林雅弘, 高木理彰	脆弱性骨盤輪骨折に対する手術療法と保存療法の比較検討.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 岩丸力也, 鈴木朱美, 麻生正, 鮫島健志, 福島重宣, 高木理彰	骨端線閉鎖前の小児に対し鏡視下後十字韌帯再建術を行った1例.	第1回日本膝関節学会, 横浜; 2023年12月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 宇野智洋, 丸山真博, 佐竹寛史, 高原政利, 高木理彰	大きく転位した上腕骨内顆疲労骨折に対し観血的手術を行い、早期野球復帰した高校野球選手の一例.	日本スポーツ整形外科学会2023, 広島; 2023年6月		B



業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者等	論題・章題・演題・学会賞名等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月等	Impact Factor ・JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 宇野智洋, 村成幸, 結城一声	ノットレスDAFF法では関節窩骨吸収は防げるか？	第28回肩関節手術研究会, 東京; 2023年8月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 浦山樹, 丸山真博, 宇野智洋, 原田幹生, 村成幸, 佐竹寛史, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 岩井章洋, 森大輔, 高木理彰	高校野球選手における肘痛と肩内旋制限に対する自己評価法との関連.	日本スポーツ整形外科学会2023, 広島; 2023年6月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 大石隆太, 村成幸, 星川恭賛, 宇野智洋, 高木理彰	腱板断裂患者の肩峰骨頭間距離には棘下筋の収縮性が関与する.	第50回日本肩関節学会, 東京; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 大石隆太, 星川恭賛, 村成幸, 宇野智洋, 高木理彰	棘下筋の筋収縮が肩峰骨頭間距離を維持する.	第38回日本整形外科学会基礎学術集会, つくば; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 大木弘治, 鮫島健志, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	寛骨臼回転骨切り術後のハイブリッド人工股関節全置換術の検討.	第50回日本股関節学会学術集会, 福岡; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 大木弘治, 高橋健大, 鮫島健志, 伊藤重治, 高窪祐弥, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	寛骨臼形成術後のセメント人工股関節全置換術の検討.	第54回日本人工関節学会, 京都; 2024年2月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 奥田正太, 佐竹寛史, 本間龍介, 丸山真博, 仁藤敏哉, 高木理彰	血液透析中の骨粗鬆症患者におけるデノスマブ投与による前腕骨骨密度とカルシウムの変化.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 尾鷲和也, 岩崎聖, 千葉優人, 佐々木淳也, 菅原裕史, 門馬亮介, 長瀬貴明, 明石一輝, 白井千緒海, 斎藤大三	胸郭出口症候群に対する一期的腋窩侵入第1肋骨切除・鎖骨上侵入神経剝離術の治療成績.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 片山れな, 佐々木幹, 大木弘治, 高橋健大, 石井政次, 高窪祐弥, 伊藤重治, 鮫島健志, 高木理彰	小児化膿性股関節の既往のある変形性股関節症に対する人工股関節全置換術の術後成績.	第50回日本股関節学会学術集会, 福岡; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 桑添翔, 高窪祐弥, 梁秀蘭, 和根崎禎大, 本間龍介, 長沼靖, 佐々木明子, 大類広, 高木理彰	人工足関節置換術後に内果骨折を合併し同種骨併用逆行性髓内釘を施行した関節リウマチの一例.	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2023年4月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 黄漢卿, 丸山真博, 高窪祐弥, 宇野智洋, 赤羽武, 五十嵐貴宏, 武田裕司, 和根崎禎大, 鈴木朱美, 伊藤重治, 高木理彰	関節リウマチの滑膜マクロファージサブタイプにおけるオートファジー関連分子の解析.	第38回日本整形外科学会基礎学術集会, つくば; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 今野祐生, 鈴木智人, 赤羽武, 高木理彰	当院における転移性脊椎腫瘍の検討	原発巣とSINSとの関連.	第52回日本脊椎腫瘍病学会学術集会, 北海道; 2023年4月	B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 今野祐生, 鈴木智人, 赤羽武, 寒河江拓盛, 高木理彰	当院における転移性脊椎腫瘍の検討	-SINSと椎体圧潰進捗との関連-	第38回日本整形外科学会基礎学術集会, つくば; 2023年10月	B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 齋藤凌矢, 武者航太郎, 宇野智洋, 結城一声, 本間龍介, 仁藤敏哉, 丸山真博, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 高木理彰	野球のピッチングが握力とピンチ力に及ぼす影響.	日本スポーツ整形外科学会2023, 広島; 2023年6月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 寒河江拓盛, 茂木紹良, 松島得好, 鈴木優太, 成田亜矢, 高野満夫, 金内ゆみ子, 高窪祐弥, 高木理彰	大腿骨近位部骨折術後 回復期における位相角利得は 退院時の栄養状態、体組成に関連する.	第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 福岡; 2023年6月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 寒河江拓盛, 鈴木智人, 高木理彰	重度頸髄損傷急性期における早期栄養療法は退院時栄養状態に影響する.	第58回日本脊髄障害医学会, 埼玉; 2023年11月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 寒河江拓盛, 赤羽武, 鈴木智人, 中島修, 高木理彰	ヘム欠乏はAMPKシグナル低下を背景にautophagy不全を伴う加齢依存的骨格筋障害を惹起する.	第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 宮崎; 2023年11月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 佐々木幹, 大木弘治, 伊東貴史, 高橋健大, 片山れな, 石井政次, 高窪祐弥, 伊藤重治, 鮫島健志, 高木理彰	Exeterステムによる再置換術の成績.	第50回日本股関節学会学術集会, 福岡; 2023年10月		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 佐々木幹, 大木弘治, 高橋健大, 石井政次, 高窪祐弥, 伊藤重治, 鮫島健志, 高木理彰	当院におけるSalter骨盤骨切り術の10年以上長期成績.	第34回日本小児整形外科学会学術集会, 神戸; 2023年11月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 佐竹寛史, 長沼靖, 本間龍介, 澁谷純一郎, 丸山真博, 仁藤敏哉, 高木理彰	上腕骨外側上顆炎患者における肘と前腕の肢位を変えた抵抗性手関節背屈テストと橈骨神経浅枝障害の評価.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 佐竹寛史, 本間龍介, 長沼靖, 高窪祐弥, 高木理彰	上腕骨外側関節リウマチによる両側母指CM関節障害に対して左右異なる関節形成術を行った1例. 上顆炎患者における肘と前腕の肢位を変えた抵抗性手関節背屈テストと橈骨神経浅枝障害の評価.	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2023年4月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 佐竹寛史, 長沼靖, 花香直美, 仁藤敏哉, 高木理彰	人工靭帯を用いた母指CM関節形成術後経過中に第2中手骨骨折が疑われた1例.	第49回日本骨折治療学会学術集会, 静岡; 2023年6月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 佐竹寛史, 高木理彰	巨指症による神経腫大病変を前腕まで切除し感覚障害を生じなかった1例.	第34回日本末梢神経学会学術集会, 京都; 2023年9月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 佐竹寛史, 仁藤敏哉, 丸山真博, 花香直美, 宇野智洋, 本間龍介, 長沼靖, 澁谷純一郎, 高木理彰	胸郭出口症候群の診断.	第38回日本整形外科学会基礎学術集会, つくば; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 佐竹寛史, 成田亜矢, 高木理彰	先天性上肢障害に対するスプリント治療.	第34回日本小児整形外科学会学術集会, 神戸; 2023年11月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 佐藤さくら, 鈴木智人, 赤羽武, 寒河江拓盛, 高木理彰	胸髄症により手術加療を要したarachnoid webの1例.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 佐藤さくら, 高窪祐弥, 長瀬紗枝子, 佐々木明子, 梁秀蘭, 本間龍介, 門馬亮介, 大木弘治, 長沼靖, 高木理彰	デノスマブによる関節リウマチ骨関節破壊抑制効果の中期成績.	第8回日本骨免疫学会, 石垣島; 2023年6月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 佐藤太志, 稲葉裕, 木下浩一, 兼氏歩, 高橋大介, 加畑多文, 後藤公志, 高木理彰, 宇都宮健, 中島康晴	変形性股関節症の病因と疫学.	第50回日本股関節学会学術集会, 福岡; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 佐藤弘人, 安野仁, 茂木紹良, 鈴木優太, 寒河江拓盛	当院における褥瘡対策としてのシーティングへの取り組み.	第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 福岡; 2023年6月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 鮫島健志, 伊藤重治, 高窪祐弥, 門馬亮介, 高木理彰	寛骨臼骨折保存療法後の偽関節に対して偽関節手術を施行した1例.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 鮫島健志, 伊藤重治, 高窪祐弥, 高橋健大, 大木弘治, 佐々木幹, 石井政次, 高木理彰	セメントレスシステムを用いた転子下短縮骨切り併用人工股関節全置換術の長期成績.	第50回日本股関節学会学術集会, 福岡; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 渋谷洋平, 大橋正幸, 橋本功, 高橋康平, 菅野晴夫, 鈴木智人, 赤羽武, 小澤浩司, 相澤俊峰, 渡辺慶, 川島寛之	重度胸髄症を呈した胸椎後縦帯骨化症における後方除圧固定術と後方進入前方除圧固定術の比較 - 4大学共同研究 -.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 嶋村之秀, 武井寛, 村上成人, 渡部拓也, 鈴木智人, 赤羽武	頸椎椎弓根スクリューの刺入精度の検討~シリンジ法を用いてX線透視のみで刺入~.	第13回最小侵襲脊椎治療学会, 宮城; 2023年6月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 白井千緒海, 菅原正登, 長谷川匡, 高木理彰	大腿部に発生した異型紡錘形細胞・多形脂肪腫様腫瘍の1例.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 菅原正登, 高原大一郎, 白井千緒海, 高木理彰	デスマイドにおけるADC値と腫瘍径の変化の関連性.	第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2023年7月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 菅原正登, 高原大一郎, 白井千緒海, 高木理彰	デスマイドにおけるADC値と腫瘍径の経過との関連性.	第38回日本整形外科学会基礎学術集会, つくば; 2023年10月		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 菅原正登, 松川淳, 高原大一郎, 白井千緒海, 高木理彰	肋骨間葉型軟骨肉腫の多発肺転移を有しながら不妊治療で妊娠・出産に成功した1例.	第7回日本サルコーマ治療研究学会学術集会, 名古屋; 2024年2月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木琢磨, 高窪祐弥, 梁秀蘭, 長沼靖, 本間龍介, 和根崎禎大, 麻生正, 高木理彰	人工股関節全置換術後感染に対しCLAPを併用したDAIRでインプラント温存が可能であった関節リウマチの1例.	第52回日本リウマチ学会, 新潟; 2023年9月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木朱美, 高木理彰	人工膝関節全置換術後感染に対する局所持続抗菌薬還流療法 (CLAP) の治療経験.	第46回日本骨・関節感染症学会, 三重; 2023年6月		
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木朱美, 和根崎禎大, 麻生正, 高窪祐弥, 佐竹寛史, 高木理彰	糖尿病性シャルコー足に対する足関節固定術にPTH製剤を併用した2例.	第48回日本足の外科学会学術集会, 大阪; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木朱美, 麻生正, 和根崎禎大, 高窪祐弥, 佐竹寛史, 高木理彰	変形性足関節症に対する外側進入型人工足関節全置換術の短期治療成績.	第54回日本人工関節学会, 京都; 2024年2月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木智人, 赤羽武, 寒河江拓盛, 今野祐生, 伊藤重治, 鮫島健志, 高窪祐弥, 高木理彰	人工股関節全置換術前の脊椎骨盤可動性評価 ΔSSと全脊椎アライメントとの関連.	第52回日本脊椎脊髄病学会学術集会, 北海道; 2023年4月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木智人, 赤羽武, 今野祐生, 寒河江拓盛, 高木理彰	脊椎変性疾患手術における術後感染性合併症とTリンパ球サブセットとの関連 CD4/CD8比の有用性.	第96回日本整形外科学会学術集会, 横浜; 2023年5月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木智人, 赤羽武, 今野祐生, 寒河江拓盛, 高木理彰	思春期特発性側弯症におけるCT値を用いた椎体骨密度評価 一側弯頂椎における凹側と凸側との差.	第38回日本整形外科学会基礎学術集会, つくば; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木智人, 嶋村之秀, 寒河江拓盛, 高木理彰	頸椎外傷に対するシリンジ法を用いた頸椎椎弓根スクリュー刺入精度の検討.	第58回日本脊髄障害医学会, 埼玉; 2023年11月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木真央, 村成幸, 大石隆太, 永井惇, 宇野智洋, 結城一声, 高木理彰	鏡視下腱板修復術において拘縮に対する追加の処置は必要か?.	日本スポーツ整形外科学会2023, 広島; 2023年6月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木真央, 村成幸, 小関匡史, 大石隆太, 永井惇, 新宮恵, 宇野智洋, 結城一声, 高木理彰	外旋制限を伴う腱板断裂は術後も残存し、術後成績を低下させる.	第50回日本肩関節学会学術集会, 東京; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 鈴木優太, 茂木紹良, 寒河江拓盛, 松島得好, 成田垂矢, 高木理彰	当院におけるHAL®医療用下肢タイプの有用性の検討.	第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 福岡(ハイブリッド); 2023年6月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 高窪祐弥, 麻生正, 和根崎禎大, 本間龍介, 梁秀蘭, 高木理彰	過去16年間の関節リウマチ患者における人工股関節膝関節手術件数の推移.	第51回日本関節病学会, 東京; 2023年7月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 高窪祐弥, 和根崎禎大, 麻生正, 梁秀蘭, 佐々木明子, 本間龍介, 門馬亮介, 長沼靖, 伊藤重治, 鮫島健志, 大類広, 高木理彰	山形地区における循環型RA病診連携ネットワーク “やらんなネット” —10年目の現状と課題—.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 高窪祐弥, 梁秀蘭, 和根崎禎大, 麻生正, 長沼靖, 本間龍介, 宇野智洋, 赤羽武, 丸山真博, 高木理彰	関節リウマチ滑膜組織におけるPPARsの病理組織学的検討.	第38回日本整形外科学会基礎学術集会, つくば; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 高窪祐弥, 伊藤重治, 鮫島健志, 大木弘治, 門馬亮介, 浦山安広, 佐々木幹, 川路博之, 小林真司, 石井政次, 高木理彰	当科のCT-based hip navigationsystemによるTHAカップ設置角度の検討.	第54回日本人工関節学会, 京都; 2024年2月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 高橋健大, 佐々木幹, 大木弘治, 片山れな, 高窪祐弥, 伊藤重治, 鮫島健志, 石井政次, 高木理彰	人工股関節後方脱臼例における脊椎骨盤矢状面アライメントの検討.	第50回日本股関節学会学術集会, 福岡; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 高橋将輝, 赤羽武, 鈴木智人, 今野祐生, 高木理彰	胸髄症状を生じ、手術加療を要したくも膜嚢胞の1例.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高橋伸典, 瀧美達也, 岡本奈美, 田村直人, 中島敦夫, 中島亜矢子, 藤井隆夫, 松野博明, 辻本直人, 西川厚嗣, 石井泰子, 竹内勤, 桑名正隆, 高木理彰	関節リウマチ患者に対するバリシチニブの有効性予測因子: 特定使用成績調査(全例調査)の結果より.	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2023年4月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高橋優斗, 酒井尚子, 白幡淳, 松島得好, 茂木紹良, 鈴木優太, 寒河江拓盛, 成田亜矢	外傷性脳損傷により眼球運動障害を呈した症例に対する反復促通訓練.	第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 福岡(ハイブリッド); 2023年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高原大一郎, 菅原正登, 白井千緒海, 高木理彰	転移性骨腫瘍を疑い骨生検を疑った症例の検討.	第56回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 東京; 2023年7月		
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 高原政利, 宇野智洋, 丸山真博, 原田幹生, 佐竹寛史, 高原大一郎, 高木理彰	離断性骨軟骨炎の病因論: 外傷か? 骨壊死か?.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 田中賢, 長沼靖, 根本信仁, 土屋匡央, 高木理彰	がんロコモ改善のため手術を行ったがん骨転移病的骨折患者の検討.	第49回日本骨折治療学会学術集会, 静岡; 2023年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 鶴田大作, 遠藤誠一, 鈴木朱美, 結城一声, 宇野智洋, 高木理彰	腱板大・広範囲断裂に対するNet like DAFF変法の手術成績.	第50回日本関節学会学術集会, 東京; 2023年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 豊野修二, 鈴木朱美, 和根崎禎大, 麻生正, 鮫島健志, 山本尚生, 伊東貴史, 中島拓, 福島重宣, 高木理彰	Kinematic alignment TKAIにおける膝蓋大腿関節適合性と術前冠状面アライメント.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 豊野修二, 鈴木朱美, 和根崎禎大, 麻生正, 鮫島健志, 伊東貴史, 宮地隆浩, 豊島定美, 山本尚生, 中島拓, 福島重宣, 高木理彰	日本人健常ボランティアのclosed stanceにおける下肢機能軸傾斜角.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 豊野修二, 鈴木朱美, 和根崎禎大, 麻生正, 鮫島健志, 福島重宣, 山本尚生, 伊東貴史, 高原大一郎, 大江倫太郎, 二口充, 高木理彰	変形性膝関節症の前十字靭帯におけるムコイド変性の病態解明.	第38回日本整形外科学会基礎学術総会, つくば; 2023年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 豊野修二, 鈴木朱美, 和根崎禎大, 麻生正, 鮫島健志, 福島重宣, 伊東貴史, 宮地隆浩, 山本尚生, 中島拓, 高木理彰	立位下肢全長X線における下肢機能軸傾斜を考慮した補正JLOA評価法	第1回日本膝関節学会, 横浜; 2023年12月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 豊野修二, 鈴木朱美, 和根崎禎大, 麻生正, 鮫島健志, 福島重宣, 伊東貴史, 宮地隆浩, 山本尚生, 中島拓, 高木理彰	日本人に適したrestricted kinematic alignmentの境界の検討	第1回日本膝関節学会, 横浜; 2023年12月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 豊野修二, 福島重宣, 宮地隆浩, 鮫島健志, 鈴木朱美, 和根崎禎大, 伊東貴史, 麻生正, 山本尚生, 中島拓, 高木理彰	TKAIにおける関節面傾斜の臨床的評価とその意義.	第54回日本人工関節学会, 京都; 2024年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 永井惇, 村成幸, 宇野智洋, 結城一声, 高木理彰	鏡視下腱板修復術を受ける患者の肩痛の程度とその要因の検討.	第50回日本関節学会学術集会, 東京; 2023年10月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 中島亜矢子, 瀧美達也, 岡本奈美, 高橋伸典, 田村直人, 中島敦夫, 藤井隆夫, 松野博明, 辻本直人, 西川厚嗣, 石井泰子, 竹内勤, 桑名正隆, 高木理彰	関節リウマチ患者のバリシチニブ治療における重篤感染症発現と帯状疱疹のリスクの検討: 特定使用成績調査(全例調査)の結果よりCOX比例ハザードモデルによる多変量解析.	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2023年4月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 長瀬貴明, 高窪祐弥, 佐々木明子, 梁秀蘭, 長沼靖, 大木弘治, 本間龍介, 大類広, 門馬亮介, 和根崎禎大, 高木理彰	当科のRA患者における過去10年間の妊娠出産症例の検討.	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2023年4月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 長瀬貴明, 中島拓, 高木理彰	当院におけるKinematic alignment法とmechanical alignment法TKAIの短期成績の比較.	第54回日本人工関節学会, 京都; 2024年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 長沼靖, 高窪祐弥, 梁秀蘭, 佐々木明子, 土屋匡央, 高木理彰	皮膚潰瘍から踵骨髄炎および化膿性足関節炎を発症し好酸球性筋膜炎が疑われた一例.	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2023年4月		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者等	論題・章題・演題・学会賞名等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月等	Impact Factor ・JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 新宮恵, 村成幸, 大石隆太, 永井惇, 宇野智洋, 櫻田香	ピーチチェア位後の血圧低下 飲水量と灌流指標・自律神経の関係.	第50回日本肩関節学会学術集会, 東京; 2023年10月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 仁藤敏哉, 石垣大介, 根本信太郎, 花香直美, 丸山真博, 佐竹寛史, 高木理彰	橈骨遠位端骨折患者におけるロコモ25の経時的な変化について.	第66回日本手外科学会学術集会, 東京; 2023年4月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 仁藤敏哉, 花香直美, 丸山真博, 佐竹寛史, 高木理彰	斜角筋三角の解剖学的変異について.	第66回日本手外科学会学術集会, 東京; 2023年4月		
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 仁藤敏哉, 佐竹寛史, 花香直美, 丸山真博, 高木理彰	日本人における斜角筋三角の解剖学的構造と胸郭出口症候群との関連について.	第38回日本整形外科学会基礎学術集会, つくば; 2023年10月		
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 根本信仁, 長沼靖, 土屋匡央, 田中賢, 伊藤重治, 高木理彰	当院における骨盤輪寛骨臼骨折治療の現状.	第49回日本骨折治療学会学術集会, 静岡; 2023年6月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 根本信仁, 長沼靖, 土屋匡央, 田中賢, 伊藤重治, 高木理彰	多発外傷に対して経皮的脊椎後方固定と骨盤後方固定を同時に行った5例.	第49回日本骨折治療学会学術集会, 静岡; 2023年6月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 根本信仁, 菊地麻里, 高田志考, 土屋匡央, 長沼靖, 田中賢, 長谷川浩士, 杉田誠, 浅野多聞, 高木理彰	COVID-19は大腿骨頸部骨折地域連携パスに影響を与えたのか-COVID-19流行前後の比較-.	第25回日本骨粗鬆症学会, 名古屋; 2023年9月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 根本信太郎, 石垣大介, 佐竹寛史, 高木理彰	短母指外転筋及び第2虫様筋導出運動神経遠位潜時の手根管開放術後の推移の比較.	第66回日本手外科学会学術集会, 東京; 2023年4月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 花香直美, 佐竹寛史, 仁藤敏哉, 丸山真博, 高木理彰	初診時の単純X線とCTで舟状骨骨折と診断できず偽関節となった1例.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 濱崎正康, 菅原正登, 白井千緒海, 高原大一郎, 高木理彰	当院における下腿悪性軟部腫瘍の治療成績.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 原田幹生, 村成幸, 高原政利, 佐竹寛史, 高木理彰	スポーツ選手の胸郭出口症候群 - パルスオキシメーターの有用性 -.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 原田幹生, 丸山真博, 宇野智洋, 佐竹寛史, 高木理彰	高校テニス選手の股関節の柔軟性についての検討 - 腰痛やパフォーマンスとの関係 -.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 針生光博, 篠村友紀, 奥田正太, 鈴木真央, 岡田宗一郎, 和根崎禎大, 高木理彰	寛解状態のリウマチ膝に対する骨切り術, 単顆置換術の小経験.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 針生光博, 菅原裕史, 中西凜太郎, 今村祐太, 片山れな, 千葉優, 渋谷真大, 門馬亮介, 長沼靖, 岩崎聖, 高木理彰	PS-mobile TKAIにおける術中内側伸展gapの中間位/外反位差が臨床成績に及ぼす影響.	第54回日本人工関節学会, 京都; 2024年2月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 福島重宣, 伊東貴史, 宮地隆浩, 山本尚生, 豊野修二, 鈴木朱美, 高木理彰	Femoral first cut techniqueを用いたKA UKAの経験.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 福島重宣, 豊野修二, 宮地隆浩, 鮫島健志, 山本尚生, 伊東貴史, 鈴木朱美, 高木理彰	Vanguard XP 300例の経験からBCRTKAの未来を考える.	第54回日本人工関節学会, 京都; 2024年2月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 福島重宣, 豊野修二, 宮地隆浩, 山本尚生, 鮫島健志, 鈴木朱美, 伊東貴史, 高木理彰	Medial pivot kneeを用いた両側同時TKAの手法の違いによる術後アライメント	第1回日本膝関節学会, 横浜; 2023年12月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 福島重宣, 豊野修二, 宮地隆浩, 山本尚生, 鮫島健志, 鈴木朱美, 伊東貴史, 高木理彰	Kinematic Alignment (KA) TKAIにおけるTrue KA法とrestricted KA法の選択	第1回日本膝関節学会, 横浜; 2023年12月		B
2.学会報告	(2)国内学会	iii 一般演題	査読有 藤井隆夫, 渥美達也, 岡本奈美, 高橋伸典, 田村直人, 中島敦夫, 中島亜矢子, 松野博明, 林悦子, 柳田幸子, 吉田光宏, 桑名正隆, 高木理彰, 竹内勤	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症を対象としたメボリズムパ製造販売後調査の中間集計結果.	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2023年4月		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 堀星耶, 今野太陽, 酒井尚子, 松島得好, 茂木紹良, 鈴木優太, 寒河江拓盛, 成田亜矢	HAL® 医療用下肢タイプを3年間使用した筋萎縮性側索硬化症の歩行能力, 体組成, ALS機能評価について.	第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 福岡; 2023年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 本間龍介, 高窪祐弥, 斎藤大三, 梁秀蘭, 長沼靖, 佐々木明子, 高木理彰	早期関節リウマチ患者における治療介入後2年での手根骨破壊の進行について.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 松島得好, 齋藤高興, 鈴木優太, 成田亜矢, 寒河江拓盛, 鍋島久遠, 金内ゆみ子, 植松茂也, 茂木紹良	脱神経筋のリハビリテーション過程におけるMRIの経時的変化.	第60回日本リハビリテーション医学会学術集会, 福岡(ハイブリッド); 2023年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 松野博明, 渥美達也, 岡本奈美, 高橋伸典, 田村直人, 中島敦夫, 中島亜矢子, 藤井隆夫, 森田善昭, 橋田哲治, 桑名正隆, 高木理彰	関節リウマチ患者に対するペフィシチニブの安全性: 特定使用成績調査(全例調査)からの中間報告.	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2023年4月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 丸山真博, 宇野智洋	若年野球選手における肘周辺の尺骨神経障害の手術成績 —術後5年以上経過例の検討—.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 丸山真博, 佐竹寛史, 宇野智洋, 仁藤敏哉, 高木理彰	競技エアロビック選手に生じた両側上腕骨小頭離断性骨軟骨炎の1例.	日本スポーツ整形外科学会2023, 広島; 2023年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 三上諒樹, 本間龍介, 大塚勝之, 鶴田大作, 山川淳一, 遠藤誠一, 中島拓, 宮地隆浩, 長瀬貴明, 高木理彰	橈骨遠位端骨折に合併した尺骨神経障害の1例.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 宮地隆浩, 福島重直, 伊東貴史, 山本尚生, 中島拓, 鯨島健志, 麻生正, 和根崎禎大, 豊野修二, 鈴木朱美, 高木理彰	Kinematic alignment TKAにおけるQuadriceps Line of Forceと膝蓋大腿関節適合性の検討.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 宮地隆浩, 福島重直, 豊野修二, 鯨島健志, 斎藤大三, 山本尚生, 中島拓, 麻生正, 伊東貴史, 和根崎禎大, 鈴木朱美, 高木理彰	日本人のKinematic alignment TKAにおいて必要なtrochlear grooveの検討.	第54回日本人人工関節学会, 京都; 2024年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 村田宙, 原田幹生, 丸山真博, 宇野智洋, 村成幸, 高木理彰	高校野球選手における潜在性貧血症状と投球パフォーマンスとの関係.	第34回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 横浜; 2023年11月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 森大輔, 丸山真博, 宇野智洋, 原田幹生, 村成幸, 佐竹寛史, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 岩井章洋, 浦山樹, 高木理彰	肩内旋制限(GIRD)に対するセルフチェックを用いた試み—高校野球選手における肩痛とセルフチェックでのGIRDとの関連—.	日本スポーツ整形外科学会2023, 広島; 2023年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 山崎風香, 今村茉実, 安田直輝, 梁秀蘭, 五十嵐貴宏, 鈴木朱美, 今村佑太, 高窪祐弥, 川前金幸, 高木理彰	青年期モルックプレーヤーにおける試合前後のバイタルデータと体組成変動の検討.	日本スポーツ整形外科学会2023, 広島; 2023年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 梁秀蘭, 高窪祐弥, 麻生正, 和根崎禎大, 長瀬紗枝子, 佐々木明子, 吉岡信弥, 高木理彰	COVID-19ワクチン接種後にリウマチ性多発筋痛症を発症した一例.	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2023年4月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 梁秀蘭, 高窪祐弥, 和根崎禎大, 本間龍介, 高木理彰	アパタセプト投与により生じた皮膚サルコイドーシス様反応を呈した関節リウマチの一例.	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2023年4月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 梁秀蘭, 寒河江拓盛, 五十嵐貴宏, 高窪祐弥, 高木理彰	山形県における生涯スポーツとしてのモルック競技人口拡大への取り組み.	日本スポーツ整形外科学会2023, 広島; 2023年6月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 山本尚生, 福島重直, 豊野修二, 宮地隆浩, 中島拓, 鈴木朱美, 和根崎禎大, 伊東貴史, 高木理彰	制限なしKinematic alignment法による人工膝関節全置換術の術後2年成績.	第54回日本人人工関節学会, 京都; 2024年2月		B
2. 学会報告	(2) 国内学会	iii 一般演題	査読有 結城一声, 大石隆太, 高木理彰	関節リウマチによる肩甲骨関節窩骨欠損例に対し, 同種骨移植を併用もしくは楔状ベースプレートを用いて反転型人工肩関節置換術を行った3例.	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡; 2023年4月		B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者等	論題・章題・演題・学会賞名等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月等	Impact Factor ・JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
2.学会報告 (2)国内学会 iii 一般演題	査読有	結城一声, 宇野智洋, 大石隆太, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 高木理彰	関節窩骨欠損および変形例に対する反転型人工肩関節置換術における3Dモデルを用いた術前模擬手術.	第96回日本整形外科学会学術総会, 横浜; 2023年5月			
2.学会報告 (2)国内学会 iii 一般演題	査読有	結城一声, 大石隆太, 宇野智洋, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 高木理彰	腱板断裂以上に対する鏡視下修復と反転型人工関節の主観評価.	第50回日本肩関節学会学術集会, 東京; 2023年10月			B
2.学会報告 (2)国内学会 iii 一般演題	査読有	結城一声, 鈴木朱美, 佐竹寛史, 高木理彰	当科で施行したコンプリヘンシブ反転型人工肩関節置換術の中期成績.	第54回日本人工関節学会, 京都; 2024年2月			
2.学会報告 (2)国内学会 iii 一般演題	査読有	吉岡大樹, 渡邊忠良, 佐竹寛史, 高木理彰	健常成人女性における握力値の誤差について.	第66回日本手外科学会学術集会, 東京; 2023年4月			
2.学会報告 (2)国内学会 iii 一般演題	査読有	渡邊忠良, 高野満夫, 吉岡大樹, 金内ゆみ子, 花香直美, 岡本純一, 今野祐生, 高木理彰	高齢者大腿骨転子部骨折に対するロングネイルの治療成績.	第72回東日本整形災害外科学会, 旭川; 2023年9月			B
2.学会報告 (3)国内地方会 ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等		Nagai J, Mura N, Yuki I, Uno T, Oishi R, Takagi M	A study of threshold in the physical findings of symptomatic and asymptomatic rotator cuff tears in the same patient.	The 120th Annual Meeting of the Tohoku Society of Orthopaedics and Traumatology, Fukushima; June 2023			B
2.学会報告 (3)国内地方会 ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等		赤羽武, 鈴木智人, 今野祐生, 寒河江拓盛, 高木理彰	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 流行前後における山形県内の脊椎外傷の変化.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月			
2.学会報告 (3)国内地方会 ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等		宇野智洋, 佐竹寛史, 丸山真博, 結城一声, 鈴木朱美, 高木理彰	肘頭疲労骨折、および肘頭骨端離開の治療—早期スポーツ復帰を目指して—.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月			B
2.学会報告 (3)国内地方会 ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等		鈴木朱美, 中島拓, 豊野修二, 和根崎禎大, 佐竹寛史, 高窪祐弥, 石垣大介, 高木理彰	外反母趾に対する手術治療法の選択.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月			B
2.学会報告 (3)国内地方会 ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等		高窪祐弥	リウマチ股関節治療の最前線.	第33回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会, 岩手; 2023年9月			
2.学会報告 (3)国内地方会 ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等		根本信仁, 長沼靖, 田中賢, 仁藤敏哉, 伊藤重治, 高木理彰	山形県における外傷診療の現在、そして未来にむけて.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月			B
2.学会報告 (3)国内地方会 ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等		門馬亮介, 高窪祐弥, 伊藤重治, 斎藤大三, 白井千緒海, 明石一輝, 入江克宗, 千葉優人, 長瀬貴明, 岩崎聖, 菅原裕史, 佐々木淳也, 尾鷲和也, 高木理彰	二次性骨折予防への取り組み.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月			B
2.学会報告 (3)国内地方会 ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等		山本尚生, 福島重宣, 伊東貴史, 鈴木朱美, 豊野修二, 和根崎禎大, 麻生正, 中島拓, 高木理彰	当院における人工膝関節全置換術後の早期回復に対する取り組み.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月			B

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者等	論題・章題・演題・学会賞名等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月等	Impact Factor ・JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 岩丸力也, 高窪祐弥, 梁秀蘭, 和根崎禎大, 麻生正, 本間龍介, 長沼靖, 佐々木明子, 大類広, 高木理彰	リウマチ性疾患患者の非定型大腿骨骨折の検討—Yama CAFE延長研究より—	第33回日本リウマチ学会北海道・東北支部学術集会, 岩手; 2023年9月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 今野祐生, 鈴木智人, 赤羽武, 寒河江拓盛, 高木理彰	腫瘍の検討—SINSと椎体圧壊進行および予後との関連—	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 寒河江拓盛, 鈴木智人, 赤羽武, 今野祐生, 高木理彰	後頭頸椎固定術後の嚥下機能障害増悪と窒息を契機に進行性核上性麻痺が判明した1例.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 佐々木幹, 大木弘治, 伊東真史, 高橋健大, 高窪祐弥, 伊藤重治, 鮫島健志, 石井政次, 高木理彰	発育性股関節形成不全に対する広範囲展開法(田邊法)の短期成績.	第62回日本小児股関節研究会, 千葉; 2023年6月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 佐竹寛史, 江藤淳, 丸山真博, 花香直美, 仁藤敏哉, 高木理彰	母指CM関節症術後に橈骨神経浅枝障害を生じ10年後に軽快した1例.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 白井千緒海, 鈴木朱美, 伊藤重治, 高窪祐弥, 中島拓, 門馬亮介, 五十嵐貴宏, 高木理彰	重症下肢虚血に大腿骨転子部骨折を合併した1例.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 鈴木瑛嗣, 田中秀達, 矢野利尚, 古口昌志, 鯉淵迪子, 増田啓治	化膿性足関節炎に対しiMAPを用いて感染の治療を行い二期的に足関節固定術を行った一例.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 高城龍馬, 高窪祐弥, 梁秀蘭, 和根崎禎大, 麻生正, 本間龍介, 長沼靖, 佐々木明子, 高木理彰	免疫チェックポイント阻害剤による筋骨格系免疫関連有害事象の検討.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 高橋輝輝, 伊藤重治, 鮫島健志, 高窪祐弥, 高木理彰	回旋変形を伴った大腿骨転子下骨折術後偽関節にchipping corrective osteotomyを施行した1例.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 土屋匡央, 結城一声, 大石隆太, 高田志考, 根本信仁, 長沼靖, 田中賢, 長谷川浩士, 杉田誠, 浅野多聞, 高木理彰	鎖骨骨幹部・遠位端骨折と拡大外科頸B型肩甲骨骨折を伴ったFloating Shoulderの1例.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 長瀬貴明, 大楽勝之, 三上諒樹, 中島拓, 遠藤誠一, 山川淳一, 鶴田大作, 宮地隆浩, 林雅弘, 高木理彰	イノシシ咬傷の3例.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 長沼靖, 佐竹寛史, 高田志考, 土屋匡央, 根本信仁, 田中賢, 長谷川浩士, 杉田誠, 浅野多聞, 高木理彰	シャント肢前腕骨幹部骨折後回旋変形に対して橈骨矯正骨切り術を施行した1例.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 濱崎正康, 菅原正登, 高原大一郎, 白井千緒海, 高木理彰	転移性骨腫瘍との鑑別を要したブラウン腫瘍の2例.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 松田瑞基, 田中賢, 高田志考, 土屋匡央, 根本信仁, 長沼靖, 長谷川浩士, 杉田誠, 浅野多聞, 高木理彰	脛骨遠位骨端部化膿性骨髄炎と化膿性足関節炎にCLAP療法を用いた1例.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 村上成人, 嶋村之秀, 渡部拓也, 武井寛, 赤羽武, 鈴木智人, 伊藤重治, 高木理彰	脊椎固定術後の反復性人工股関節後方脱臼に対して再置換を施行した1例.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月		B
2.学会報告	(3)国内地方会	iii 一般演題	査読有 渡邊忠良, 高野満夫, 吉岡大樹, 金内ゆみ子, 花香直美, 岡本純一, 今野祐生, 高木理彰	高齢者大腿骨転子部骨折に対するロングネイルの治療成績.	第120回東北整形災害外科学会, 福島; 2023年6月		B
2.学会報告	(4)研究会	ii シンポジウム・パネルディスカッション・ワークショップ・教育講演等	鈴木智人, 赤羽武, 今野祐生, 寒河江拓盛, 武井寛, 嶋村之秀, 村上成人, 入江克宗, 尾鷲和也, 岩崎聖, 千葉俊人, 片山れな, 伊藤友一, 千葉克司, 内海秀明, 高田志考, 杉田誠, 長谷川浩士, 渡部拓也, 林雅弘, 山川淳一, 高木理彰	山形県における脊椎脊髄手術の他施設共同疫学調査—超高齢社会の現状—	第34回東北脊椎外科研究会, 宮城; 2024年1月		B



業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者等	論題・章題・演題・学会賞名等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月等	Impact Factor ・JIF QUANTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
2.学会報告	(4)研究会	iii 一般演題	査読無 赤羽武, 鈴木智人, 寒河江拓盛, 高木理彰	山形における脊椎外傷に対するLINE WORKSを用いた病連携 -脊椎外科医へのMIST-	第14回東北MIST研究会, 宮城; 2024年1月		
2.学会報告	(4)研究会	iii 一般演題	査読無 赤羽武, 鈴木智人, 寒河江拓盛, 高木理彰	多数回手術後創部癒合不全を繰り返す1例 (症例相談).	第14回みちのく脊椎・側弯セミナー, 秋田; 2024年3月		
2.学会報告	(4)研究会	iii 一般演題	査読無 赤羽武, 鈴木智人, 寒河江拓盛, 高木理彰.	腰仙椎を主座とする先天性側弯症の1例 -その後の経過報告-	第14回みちのく脊椎・側弯セミナー, 秋田; 2024年3月		
2.学会報告	(4)研究会	iii 一般演題	査読無 五十嵐貴宏, 丸山真博, 黄漢卿, 宇野智洋, 花香直美, 鈴木朱美, 高窪祐弥, 高木理彰	家兔膝骨軟骨欠損に対する末梢血由来および骨髄由来多血小板フィブリンの効果.	実験動物セミナー第34回研究成果発表会; 2023年12月		
2.学会報告	(4)研究会	iii 一般演題	査読無 佐竹寛史, 丸山真博, 花香直美, 仁藤敏哉, 高木理彰	Kienböck病による変形性手関節症に対し月状骨部分切除と腱球移植を行った1例.	第38回東日本手外科研究会, 東京; 2024年2月		
2.学会報告	(4)研究会	iii 一般演題	査読無 寒河江拓盛, 赤羽武, Koen Van Wijk, 齊藤真一, 木村朋寛, 岡野聡, 児玉健, 田中徹, 鈴木智人, 高木理彰, 中島修	5-アミノレブリン酸が筋力及び骨格筋線維組織に与える影響.	実験動物セミナー第34回研究成果発表会; 2023年12月		C
2.学会報告	(4)研究会	iii 一般演題	査読無 澁谷純一郎, 高原政利, 佐竹寛史, 高木理彰	橈骨遠位端骨折に対する骨折親血の手術と同時に鏡視下手根管開放を行った症例の検討.	第38回東日本手外科研究会, 東京; 2024年2月		B
2.学会報告	(4)研究会	iii 一般演題	査読無 白井千緒海, 菅原正登, 高原大一郎, 高木理彰	左手関節軟部腫瘍の1例.	第30回東北地区骨軟部腫瘍研究会, 新潟; 2023年11月		
2.学会報告	(4)研究会	iii 一般演題	査読無 高窪祐弥	足趾手術のため入院した晩期関節リウマチ患者に対するSARAH 集中プログラムによる介入効果.	第55回日本リハビリテーション医学会東北地方会 専門医・認定臨床医生涯教育研修会, 仙台; 2024年3月		
2.学会報告	(4)研究会	iii 一般演題	査読無 深井さくら, 高原政利, 澁谷純一郎, 佐竹寛史, 高木理彰	ばね指に対する腱鞘切開術の短期成績.	第38回東日本手外科研究会, 東京; 2024年2月		B
2.学会報告	(4)研究会	iii 一般演題	査読無 辺見大剛	Rスタッフ (IBJRAT-RRT隊員) の活動と役割	第6回山形県災害リハビリテーション研究会, 山形; 2023年7月		
2.学会報告	(5)その他		高窪祐弥	超高齢社会における関節リウマチ治療とリハビリテーション介入の可能性 - 東北・山形地区の現状と課題 -.	エンブレクリックワイズ講演会, 山形; 2023年5月		
2.学会報告	(5)その他		高窪祐弥	循環型リウマチ病診連携 やらんなネットの現状と課題 -整形リウマチ医がすべきこと・できること・したいこと-	東北労災病院整形外科懇話会, 仙台; 2023年8月		
2.学会報告	(5)その他		高窪祐弥	リウマチリハビリテーションの実際と課題 -出羽の国からSARAH studyとJAK阻害剤も含めて-	第21回 Rheumatology Update Tokyo, 東京Web; 2023年7月		
2.学会報告	(5)その他		高窪祐弥	令和時代の最新関節リウマチ治療 -循環型病診連携やらんなネットとリウマチ足手術も含めて-	庄内医療懇話会, 酒田Web; 2023年6月		
2.学会報告	(5)その他		高窪祐弥	リウマチの最新治療.	Taisho Rheumatoid Arthritis Web Seminar in 山形Taisho Rheumatoid Arthritis Web Seminar in 山形, 山形; 2023年9月		
2.学会報告	(5)その他		高窪祐弥	整形外科医がMTXを投与するための7か条.	MTX 適正使用研究会, 秋田Web; 2023年9月		
2.学会報告	(5)その他		高窪祐弥	関節リウマチにおける最新の話題.	RA-ILD病診連携セミナーin山形, 山形; 2023年9月		
2.学会報告	(5)その他		村川美幸	AI時代に生き残る?リハビリテーション医療 ~作業療法士の可能性~	第13回日本整形外科勤務医会山形支部会, 山形; 2024年1月		

業績分類	査読	著者・筆者・発表者・発明者・受賞者 等	論題・章題・演題・学会賞名 等	掲載誌・書名・巻・号・頁・PMID 学会名・開催地・年月 等	Impact Factor ・ JIF QUARTILE (2022)	刊行状況	研究情報備考
2. 学会報告 (5) その他		村川美幸	災害支援で作業療法士ができること ～台風19号 の被災地支援から見てきたもの～	2023年度 災害対策研修会, 福島; 2023年10月			
5. 学会等での受賞	査読有	梁秀蘭, 高窪祐弥, 和根崎禎大, 本間龍介, 高木理彰	秀逸ポスター賞 アバタセプト投与により生じた 皮膚サルコイドーシス様反応を呈した関節リウ マチの一例.	第67回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福 岡; 2023年4月			B